

## 大学入試センター試験を受けました

もう1月が終わりますね。優太郎はついに今日で高校の授業が終わりました。

明日から一週間学年末試験です。

先週木曜日、クラブの終わりに 22:30 最終下校で帰るのも今日が最後か...昨日は4時間授業で 21:15 下校も最後か...と一つ一つ名残惜しみながら終わって行ってます。

卒業する人はみんなそうだろうと思うのですが、案外生徒たちは先生や親よりも意識してなく、優太郎もクールで、そうでもないようなことを言ってます。まあ、自分も高校生の頃そんなことあまり考えてなかったかもしれません。

春日丘ではテストの点が0点でも、平常点（出席や提出物）で40点あれば追認指導がなくても単位が取れ、進級できるおかげで、1つも落とさずここまでできました。京都の学校でもどこでも、こういう配慮ができるようになってほしい、と改めて思います。

センター試験の報告も、FBや定例会でしたので今さらですが、振り返ってみます。

1/19 一日でしたが、3科目日本史A（60分）、昼休憩1時間をはさみ、国語（80分）、30分休憩後、英語筆記（80分）、30分休憩後、リスニング（30分調整時間、30分）と、朝10:40～終わると18:20でした。

そんな長時間は高校受験以来だし、体力が持つか心配でしたが、何とか全く眠ることなく、全部受けることができました。しかも、おおかた9割解答している！のに驚きで、学校での試験よりはるかに頑張っていたそうです。絶対寝ると思っていたので、本当にビックリでした。

しかも昼からは若干疲れも出てきたのか？けいれんの発作も起こり始め、最後の方は今まで見たことない大きさの発作が止まらなかったのも、本当に体を張って全力で頑張ったのだなあと、目頭が熱くなりかけました。

試験監督？（阪大の人）が問題に解答を書いて私に渡してくれていたのも、つい期待して次の日に答え合わせをしましたが、やはり現実は甘くなかったです...点数はかなり低かったのも、残念ながら出願は諦めました。

あれだけ自分の力以上出し切って頑張った姿を見れた、挑戦できたことと、まばたきだけでセンター試験受験したという、全国初の前例を作れただけでも良しとすることにしよう、と思いました。

そこには、なぜセンター試験を受けたのか？受けざるを得なかった現状を多くの人たち、大学関係者にも問いたい気持ちがあります。みんなと同じようにAOや推薦入試を受けたかったのに、入学後の受け入れや、介助者を介した面接や筆記試験が認められなかったことを、知って考えてほしいです。

誰もが学びたい人には学ばせてほしい。そんな純粋な願いを平等に実現させてほしいという思いなのです。

それは多くの大阪府以外の地域で高校に行きたくても行けないことと同じだと思います。

この経験を通して、今後も伝え投げかけていきたいです。  
ま、とにかく4年間よく頑張った！ってまだ試験も卒業もまだですが。

新居真理